

公開質問状を提出

山の家レストラン アンケート問題に関して

先日、高原クラブ運営審議会会長名で、山の家レストラン（プチフリーズ）に関するアンケートが実施されました。実施対象が、全会員なのか全社員なのか、あるいは居住者なのかは不明です。このようなアンケートが実施されることは過去にあまり例がなかったことなのですが（数年前に太陽光発電設備に関するアンケートはありました）、その趣旨が極めて不明確で、回答しようとした方に混乱を招いた恐れがありました。それは

- ① なぜ今アンケートを実施するのか
- ② レストランの経営に対する資金援助の実態を示すべきではないか
- ③ 新聞チラシなどで、外部からの利用を呼び掛けているが、山の家本来の趣旨からはかけ離れているのではないか

昨年引き続き、今年も「居酒屋」の宣伝文句がありました

④ 外部に宣伝することによるいわゆる「効果」はどれほどのものであるのかなどがあげられます。様々な費用負担は会費によるものです。

そこで、自治会としては別掲の通りの「公開質問状」を提出しました。真摯な回答をいただき、建設的な議論の一步となればと思います。なお、文字通り「公開」ですので、質問内容および回答内容はさまざまな方法で公開いたします。

説明会を実施

ゲート管理の変更について

9月9日（日）午後2時よりゲート管理の変更について説明会が実施されました。多数の社員・会員の参加がありましたが、理事会側は代表理事他2名の理事、アルソック（警備会社）の社員2名が出席しました。当初から危惧された通り、十分な説明はなされませんでした。夜間の宿直員は以前の3名から1名に減員、アルソックの警備はゲートまでと判明しました。これでは広大な自然高原の夜間の緊急対応は不可能でしょう。今回の管理体制の変更の原因となった「労基署の是正勧告」も会員側の強硬な要求により配布されましたが、まったくの責任転嫁としかいえません。現在の措置は暫定的なもので、今後変更がある可能性があるとの説明でしたが、問題が起こってからでは手遅れです。